

事業所名

子どもの家ひだまり

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

10月

15日

法人（事業所）理念		全ての人が笑顔になれる社会の実現					
支援方針		午前：遊びの中で大人が関わり、楽しい経験を積んでいきます。自分で出来る事を増やし丁寧な支援を提供します。 午後：様々な経験の中で「出来た！」と感じ、終われる支援を提供します。一人一人が自分に自信が持てるような支援を目指します。					
営業時間		9時	0分	16時	45分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・到着・帰りの準備、季節のお着替え、トイレ等、身辺自立に関する生活全般の生活動作の獲得を目指します。 ・継続して通所し、日中活動を行なうことで生活リズムの安定を図ります。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・室内活動や外遊びを通して様々な粗大運動を取り入れていきます。生活動作で必要とする体の使い方の習得を目指します。 ・指先を使った活動や、五感を刺激する感覚遊びを取り入れています。活動の中で、好きなものや好きなこと探しを行います。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で遊具の順番を待つ、おもちゃの貸し借りをする等、遊びの中の社会性を育みます。また、活動の時間内で順番を待つ等の経験を重ねます。 ・大人やお友達と一緒に取り組む活動を通し、「ねえねえ」と声掛け等をして相手に意識を向けることを促します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・大人やお友達と遊びの中で「楽しい」「もう一回！」といった楽しい気持ちや場の共有を重ねていき、ジェスチャーや言葉で伝える経験を積んでいきます。 					
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で興味を持てる事を広げていき、自分で分かる事や出来る事を増やしていきます。 ・大人の声掛けと共に個々に合わせた視覚支援を行い、生活の中で使われる言葉の理解、概念理解へとつなげていきます。 						
家族支援		連絡帳や電話、面談等を通してお子様の情報共有を行います。 参観や個別療育を通して家庭での関わりに対して相談支援を行います。			移行支援		就園先への情報提供や就園後の情報共有等を通して、スムーズな移行を支援します。 ライフステージの切り替えに合わせ、関係機関への情報提供を行います。
地域支援・地域連携		必要に応じて併用先への訪問や電話での情報共有等の連携を図ります。			職員の質の向上		法人内外での勉強会、研修への参加を行います。 日々の支援前後、毎月のミーティングの中で情報共有や支援方針の確認を行います。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・遠足 ・夏祭り ・卒園式 ・消防体験 ・ひだまり会 ・卒園児遠足 					